

岡山国際交流センター（H29.10.13）

「思い」をつなぐ認知症地域支援の取組み ～オレンジ交流会～

東広島市健康福祉部高齢者支援課 宮崎真弓

東広島市について(位置、人口、面積等)

位置・人口

- 県の中央部に位置し、県内各方面からのアクセスが良好である。
- 人口 **184,929人**
(平成28年3月末住民基本台帳)



面積・地勢

- 面積 **635.16km²**
- 周囲を低い山々に囲まれた標高200~400mの盆地状の地形が大部分を占める。
- 南東部は、瀬戸内海に面している。

東広島市の概要



広島県の中央部に位置しており、市の中心地である西条は日本三大銘醸地といわれています。

毎年10月に「酒まつり」が開催され、20万人以上が訪れます。



人口	184,929人
65歳以上人口	42,534人
高齢化率	23.0%
日常生活圏域数	10ヶ所
包括数	4ヶ所
認知症地域支援推進員数	5人

(平成28年3月末現在)

東広島市地域包括支援センターの体制

東広島市高齢者支援課
東広島市地域包括支援センター（基幹型機能）

【直営】地域包括支援センター 4か所

黒瀬地域包括支援センター

北部地域包括支援センター

豊栄地域高齢者相談センター
（東広島市社会福祉協議会）

河内地域高齢者相談センター
（東広島市社会福祉協議会）

安芸津地域包括支援センター

【委託】高齢者相談センター（ブランチ）7か所

西条北地域高齢者相談センター
桜が丘保養園

西条南地域高齢者相談センター
（東広島市社会福祉協議会）

八本松地域高齢者相談センター
新生園

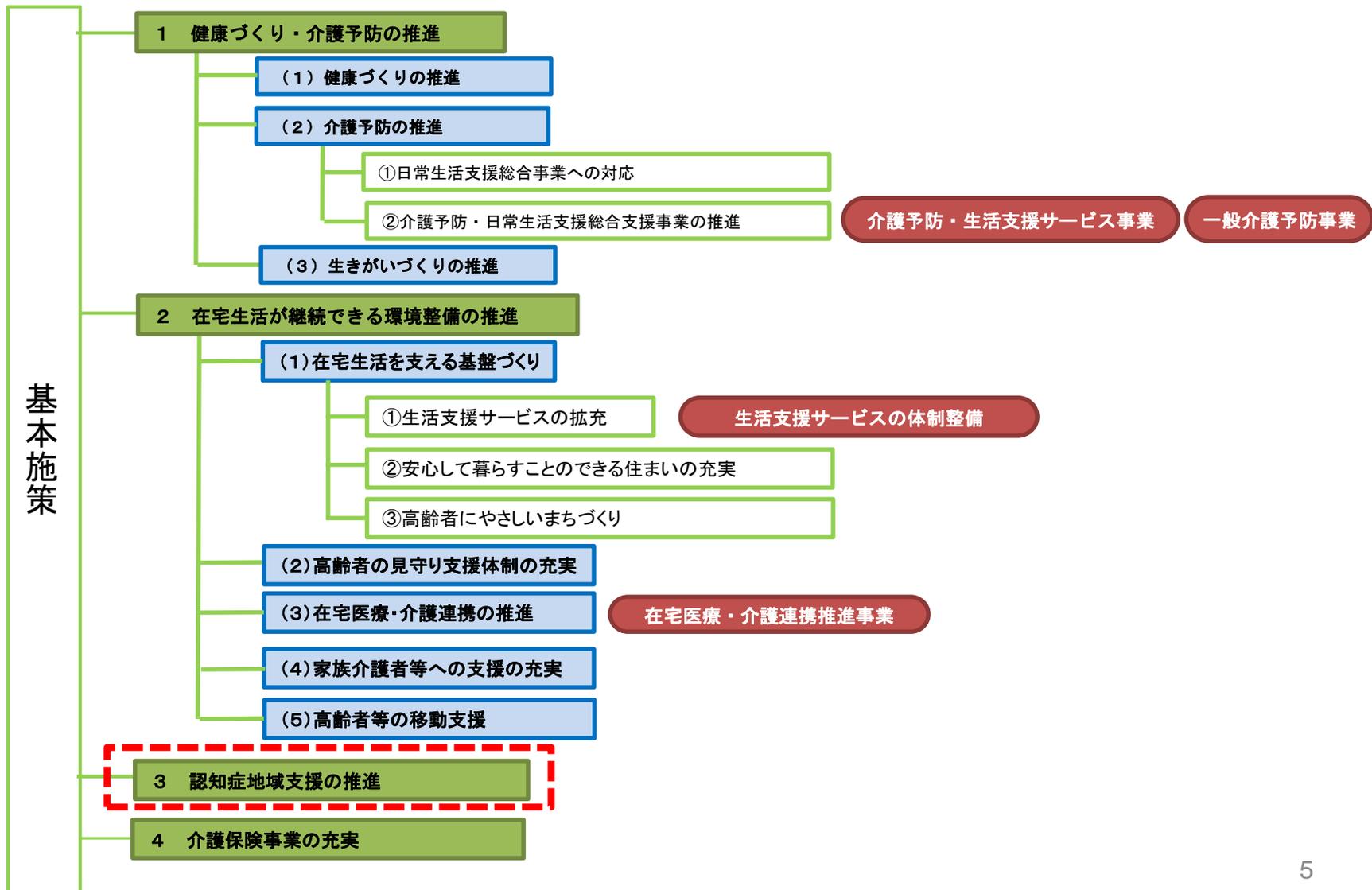
志和地域高齢者相談センター
みずほ

高屋地域高齢者相談センター
みその

第7次東広島市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画（抜粋）

【基本目標】

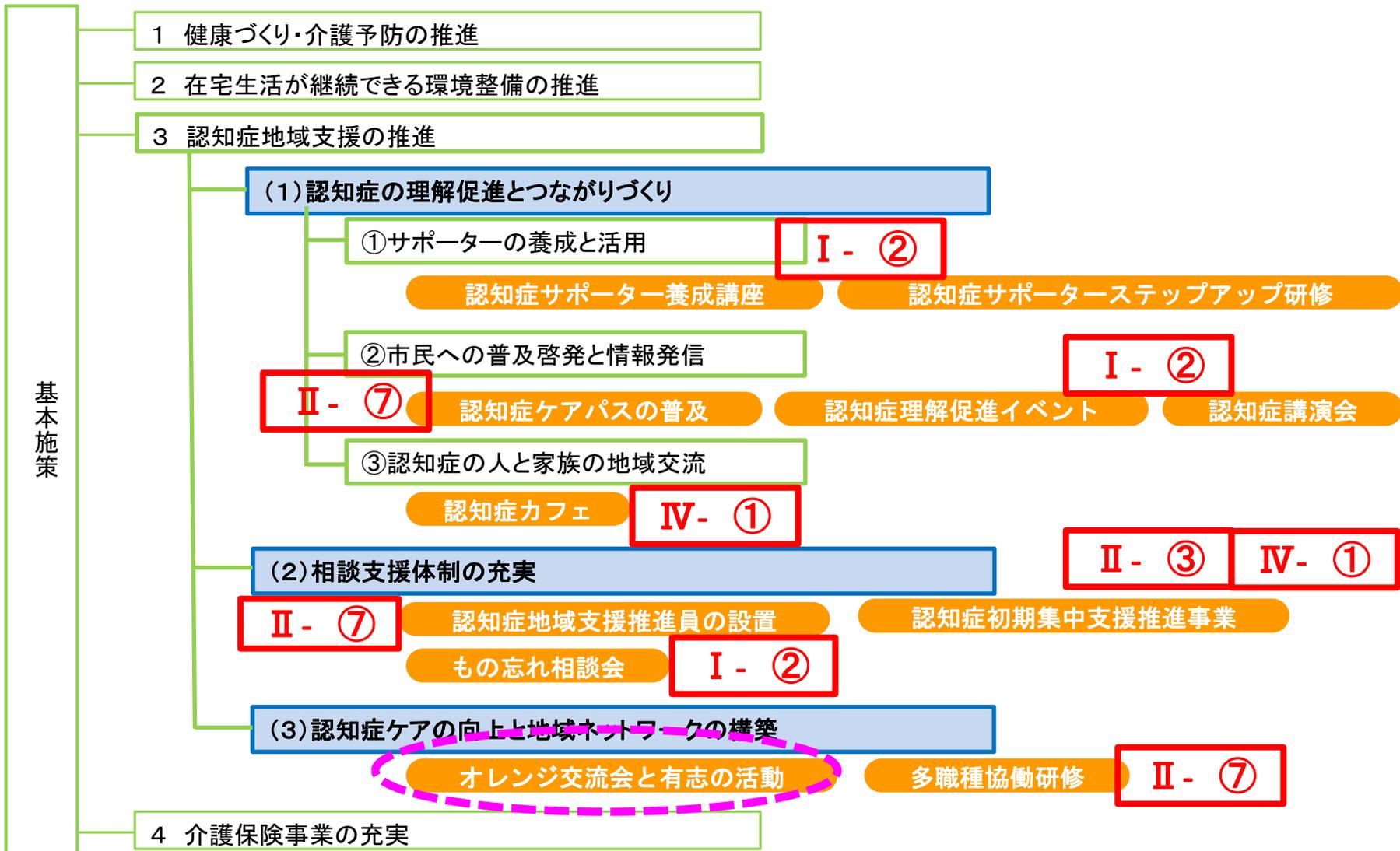
高齢者が要介護状態になっても、可能な限り、住み慣れた地域において在宅生活が継続できる基盤づくりを基本目標に掲げ、平成37年度（2025年度）までに**地域包括ケアシステムを構築する**ことを目指します。



第7次東広島市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画（抜粋）

【基本目標】

高齢者が要介護状態になっても、可能な限り、住み慣れた地域において在宅生活が継続できる基盤づくりを基本目標に掲げ、平成37年度（2005年度）までに地域包括ケアシステムを構築することを目指します。



認知症地域推進員の配置について

- 認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、認知症の容態の変化に応じすべての期間を通じて必要な医療・介護等が有機的に連携したネットワークを形成し、認知症の人への支援を効果的に行うことが重要である。
- このため、市町村ごとに、地域包括支援センター、市町村、認知症疾患医療センター等に認知症地域支援推進員を配置し、認知症疾患医療センターを含む医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の間の連携を図るための支援や、認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う。

※平成30年度 すべての市町村で配置（広島県：82.6% H27）

市町村と協働し、認知症施策を推進する重要な存在＝公的な存在

認知症地域支援推進員の役割

医療・介護等の支援ネットワークの構築

- 認知症の人が認知症の容態に応じて必要な医療や介護等のサービスを受けられるように関係機関との連携体制の構築
- 市町村との協力による、認知症ケアパス(状態に応じた適切な医療や介護サービス等の提供の流れ)の作成・普及

認知症対応力向上のための支援

※関係機関等と連携し以下の事業の企画・調整を行う

- 認知症疾患医療センターの専門医等による、病院・施設等における処遇困難事例の検討及び個別支援
- 介護保険施設等の相談員による、在宅で生活する認知症の人や家族に対する効果的な介護方法などの専門的な相談支援
- 「認知症カフェ」等の開設
- 認知症ライフサポート研修など認知症多職種研修の実施 等

相談支援・支援体制の構築

- 認知症の人や家族への相談支援
- 「認知症初期集中支援チーム」との連携等による、必要なサービスが認知症の人やかぞくに提供されるための調整

オレンジドクター・オレンジアドバイザー・キャラバンメイト交流会 (オレンジ交流会)



オレンジドクター
(サポート医・
もの忘れ相談医)



オレンジアドバイザー
(認知症介護指導者・
実践リーダー研修終了者)



キャラバン・メイト
(認知症サポーター養成講座の講師役)

* さまざまな関係者が集うオレンジ交流会

* そのメンバーが仲間として活動している有志の会

オレンジ交流会のはじまり

H22年5月～9月

地域包括支援センターに若年性認知症の相談が続いて入る

- * 60歳の母親
シングルマザーの娘が介護をしている
アルコール依存症の父親と未就学の子の4人暮らし
- * 60歳の夫
突然の告知を受け、妻もうつ治療を始めていた
- * 51歳の妻
料理が出来なくなった、近所で道に迷っている
気づいていたが相談手段を知らなかった夫

若年性認知症対応の
家族会「あゆみの会」
に相談
個別の関わりと支援
のアドバイスをもらう



H22年11月

全ての地域包括支援センターの保健師で「あゆみの会」のある通所介護事業所「がってんクラブ」を訪問し、**お話を伺う。**

- * 若年性認知症のご本人、ご家族の思いや抱えている問題について
- * 私たち(行政・介護関係者)に望むことについて

事業所訪問後の保健師の気づき

- * 知らない(気付かない)ことが多く、知識を持たなければならないと自覚。
- * 認知症地域支援に向けて私たちができることを考えたい。
- * 包括だけでは限界。地域の認知症支援関係者との協働ができないか。

地域の関係者とのつながりを求めて、まずは相談をしてみよう！

サポート医

医師の立場からも地域連携を進めたいと思っていた。

広島県認知症介護指導者

広島県もオレンジアドバイザーの活躍の場を模索しているのが現状、地域協働の活動はこれから重要になる。

キャラバン・メイト

キャラバン・メイトにはなったが、どんなふうに参加したらよいか不安。情報不足もある。

参加して活動してみよう ～連携・協働～

第1回 オレンジ交流会 (平成23年3月17日)

【講演】

『認知症の人と家族を地域で支えるために』

- * オレンジドクターの立場から
- * オレンジアドバイザーの立場から
- * キャラバン・メイトの立場から

【意見交換】

『地域でどのような活動をしていけるか』
～日々の生活の中からの気づき～



いろいろな立場の人と出会い、 新しい仲間を増やしながら頑張っています



(第6回目 H25.9.12の風景から)

オレンジ交流会、次へのステップ！

【第1回交流会の気づき】

- * 地域住民の意識
- * 早期発見の課題
- * 医療機関受診の工夫
- * サービス利用への
つなぎ方
- * 家族の負担
- * 関わり方の工夫



【見えてきた課題】

- * 専門医(精神科)受診へのハードルが高い(家族)
- * 家族の対応等で困ったときに相談する場所がない(ケアマネ)
- * 地域の中でどう関わっていけばよいのかわからない(オレンジアドバイザー)
- * 認知症サポーター養成講座は1回だけでなくフォローアップが必要ではないか
- * 認知症に対する偏見をなくしてご近所同士の見守りなどができる地域づくり
- * 一人一人の事例からサポート体制を作っていく必要がある

これから何ができそうか



何か活動をしたいが、一人では自信がないという声



有志を募ったら具体的な活動が出来るのではないかと



オレンジ有志の会

オレンジ有志の会とは・・・

オレンジ交流会に参加している
オレンジドクター、オレンジアドバイザー、キャラバン・メイトの中で、
特に『認知症になっても安心して自分らしく住み続けられる まち・東広島』
に向けて、できることから具体的な活動を始めてみようという思いを持った
メンバーのことをいいます。

オレンジ有志の会

テーマごとの
実行委員会

オレンジ関係者会議

オレンジコアメンバー会議



垣根を越えた集まり



活動の展開



定着に向けて

オレンジ有志の会 『ぶれないテーマ』

「認知症で苦勞している

本人・家族に何をすればよいか」

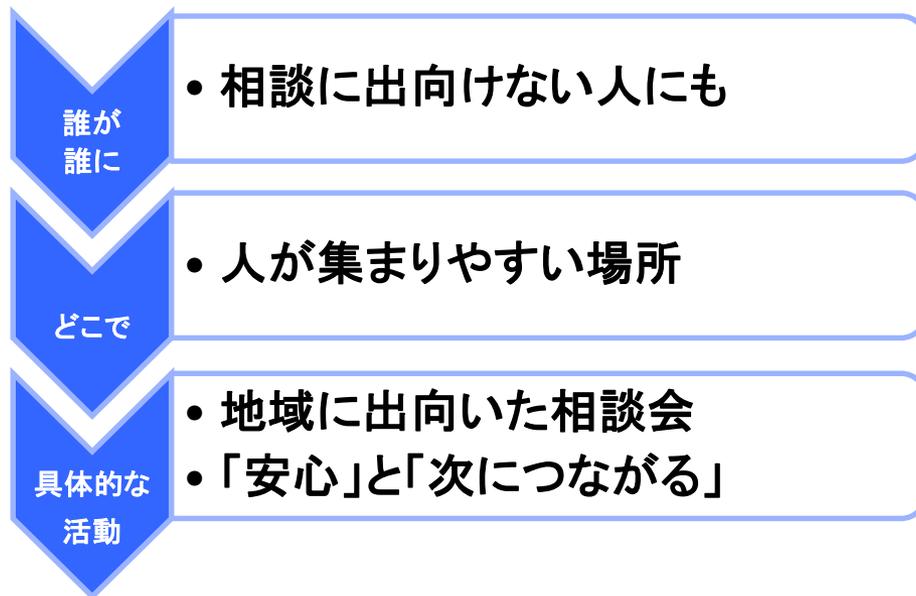


(1) 相談窓口づくり

● 認知症介護アドバイザー意識調査から見えてきた課題

- 相談できる場所
- つなげていく環境

● 取組みの方向性



①もの忘れ相談会の開催



②認知症理解促進イベント

～認知症理解促進イベント～

認知症を知ろう! 語ろう! つながろう!

オレンジの輪



日時 **9月22日(月)**

開始時間 **10:00～**

※イベントの内容によって開始時間が異なります。

場所 **東広島市役所本館 (1・2・4階)**

申込み **不要** 料金 **無料** どなたでもお気軽にどうぞ!

1階 ロビー

◆ 脳の年齢を知ろう!
時間 10:00～12:00、13:00～15:00

脳年齢測定で楽しくチェック!
・有効活用度…本来の能力の活用度 (能力発揮の度合い)
・脳の元気度…どれだけ疲れにくいのかの目安
・素早さ…実年齢と比べた情報処理能力

4階 402会議室

◆ 認知症相談
時間 10:30～12:00 13:00～15:00

物忘れが心配、相談窓口がわからない、どこの病院に行ったらいいのか、その他認知症予防や介護のことなど、お気軽にご相談ください。

◆ 心とからだのリフレッシュ!
タクティールケア体験

時間 13:00～14:30
タクティールケアとは、人が人に触れることの癒しの効果を活用したケア方法で、認知症ケアに取り入れられています。イベントではタクティールケア体験としてハンドマッサージを行います。

2階 オーフンスペース

◆ 頭を使おう! 楽しく脳トレ
時間 10:00～12:00、13:00～15:00

日頃から、自宅でもできるトレーニングを紹介します。軽度認知障害の人がすべて認知症になるわけではありません。誰でもできる認知症予防法を紹介します。

4階 403・404会議室

◆ 笑って元気に!! 「笑いヨガ」体験
時間 10:00～10:30

笑うことで、横隔膜が動き、自律神経に働きかけていくことで、バランスが整えられ、脳や細胞が活性化されます。

◆ 認知症サポーター養成講座
時間 10:45～12:00

認知症サポーターとは、認知症を理解して、認知症の人とその家族を“応援”する人です。

◆ 脳を元気にいさいと! 認知症予防体操
時間 13:30～14:30

広島県認知症介護指導者・作業療法士による体操の実践

＜お問い合わせ先＞東広島市福祉部高齢者支援課 TEL 082-420-0984 FAX 082-426-3117



お気軽にご参加ください 😊

4階 402会議室

◆ 脳の若返り! 認知症予防体操

時間 10:00～10:45

広島県認知症介護指導者・作業療法士による体操の実践

◆ 認知症サポーター養成講座

時間 第1回 11:00～12:00

第2回 13:30～14:30

4階 403会議室

◆ タクティールケア体験

時間 13:30～14:30

タクティールケアとは、人が人に触れることの癒しの効果を活用したケア方法で、認知症ケアに取り入れられています。イベントではタクティールケア体験としてハンドマッサージを行います。

◆ 認知症相談

時間 10:00～15:00

・もの忘れが心配
・相談窓口がわからない
・どこの病院に行ったらいいのか
・認知症予防や介護のこと など
♪お気軽にご相談ください♪

2階 オーフンスペース

◆ 頭を使おう! 楽しく脳トレ

時間 10:00～15:00

日頃からできるトレーニングを紹介します。軽度認知障害の人がすべて認知症になるわけではありません。誰でもできる認知症予防法を紹介します。

1階 ロビー

◆ 脳の年齢を知ろう!

時間 10:00～15:00

脳年齢測定で楽しくチェック!
・有効活用度…本来の能力の活用度 (脳の発揮の度合い)
・脳の元気度…どれだけ疲れにくいのかの目安
・素早さ…実年齢と比べた情報処理能力



(イベント風景)



脳年齢測定会



認知症サポーター養成講座



認知症予防体操



タクティールケア

(2) 認知症社会資源マップの作成

● 家族の声から

- ・ どこに相談したらいいかわからない
- ・ そもそも相談窓口があることを知らない
- ・ 本当に欲しい情報がない

作業1

医療機関・介護保険事業所アンケートを実施

作業2

掲載内容を検討する

作業3

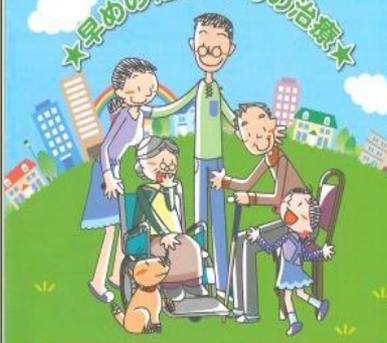
オレンジマップ(リーフレット・ホームページ)作成

オレンジマップから認知症ケアパス作成へ

認知症について不安をお持ちの方はぜひご覧いただき、ご利用ください。

東広島市認知症支援マップ
オレンジマップ

★**早めの相談・早めの治療**★



東広島市では、「認知症になっても安心して自分らしく住み続けられるまち・東広島市」を目標し、認知症支援に関わっている、**オレンジドクター**（もの忘れ・認知症相談員）、**オレンジアドバイザー**（認知症介護実践研修者・地域の相談役）、**キャラバンメイト**（認知症について正しい知識を伝える認知症サポーター養成の講師）、市担当者等で、認知症支援の輪をつなぐ「**オレンジ交差点**」を立ち上げています。

オレンジ交差点の取り組みのひとつとして、この認知症支援マップ（オレンジマップ）を作成しました。

平成25年4月発行
東広島市

（初版平成25年4月）

必見！認知症・認知症予防情報満載！

東広島市認知症地域支援情報
オレンジマップ

★**早めの相談・早めの治療**★
★**今日からできる認知症予防**★



認知症になっても安心して自分らしく住み続けられるまち・東広島市

（平成26年）

東広島市認知症地域支援情報

認知症ガイドブック

早めの相談

認知症は、脳の老化等がもたらす脳の病変で、誰にでも起こる可能性があります。65歳以上の10人に1人、85歳以上の4人に1人が認知症とされており、高齢化とともにますます認知症の人数が増えると言われています。認知症を自分のこととして意識することが大切です。

早めの治療

認知症の始まり（発症までの期間）は、身近な家族や友人が気づくことが多いのですが、ご本人も「おかしい？」と感じています。「年だから仕方がない・・・」とすまわずに、早い段階でかかりつけ医や相談機関に相談し、専門家のアドバイスを受けることが大切です。

心をつなぐ

認知症になっても安心して自分らしく住み続けられるまち・東広島市

東広島市では、**オレンジドクター**（もの忘れ・認知症相談員）、**オレンジアドバイザー**（認知症介護実践研修者・地域の相談役）、**キャラバンメイト**（認知症について正しい知識を伝える、認知症サポーター養成の講師）などで、認知症地域支援の輪をつなぐ「**オレンジ交差点**」を立ち上げ、活動しています。その取り組みのひとつとして、このガイドブックを作成しました。

平成27年3月発行

（平成27年～）

(3) 認知症サポーターの活用

●H25.6.20 オレンジ関係者会議開催

【構成メンバー】

サポート医・認知症介護指導者・オレンジアドバイザー・
キャラバン・メイト(家族の会・介護保険事業所・社協・市)

有志の取組みテーマについて協議

➡ ボランティア活動につながる『認知症サポーターの活用』ができない

- 身近に、自分磨きをしたいと思っている人たちがいる
- この人たちに呼びかけ、ボランティアのしくみをつくっては
- 認知症サポーターも数を増やすだけでなく、その後の継続したフォローアップが必要

↓
「傾聴・おはなしボランティア(オレンジボランティア)」の養成



認知症の理解

認知症の方と
上手に接するために



オレンジ交流会が認知症地域支援の輪に発展

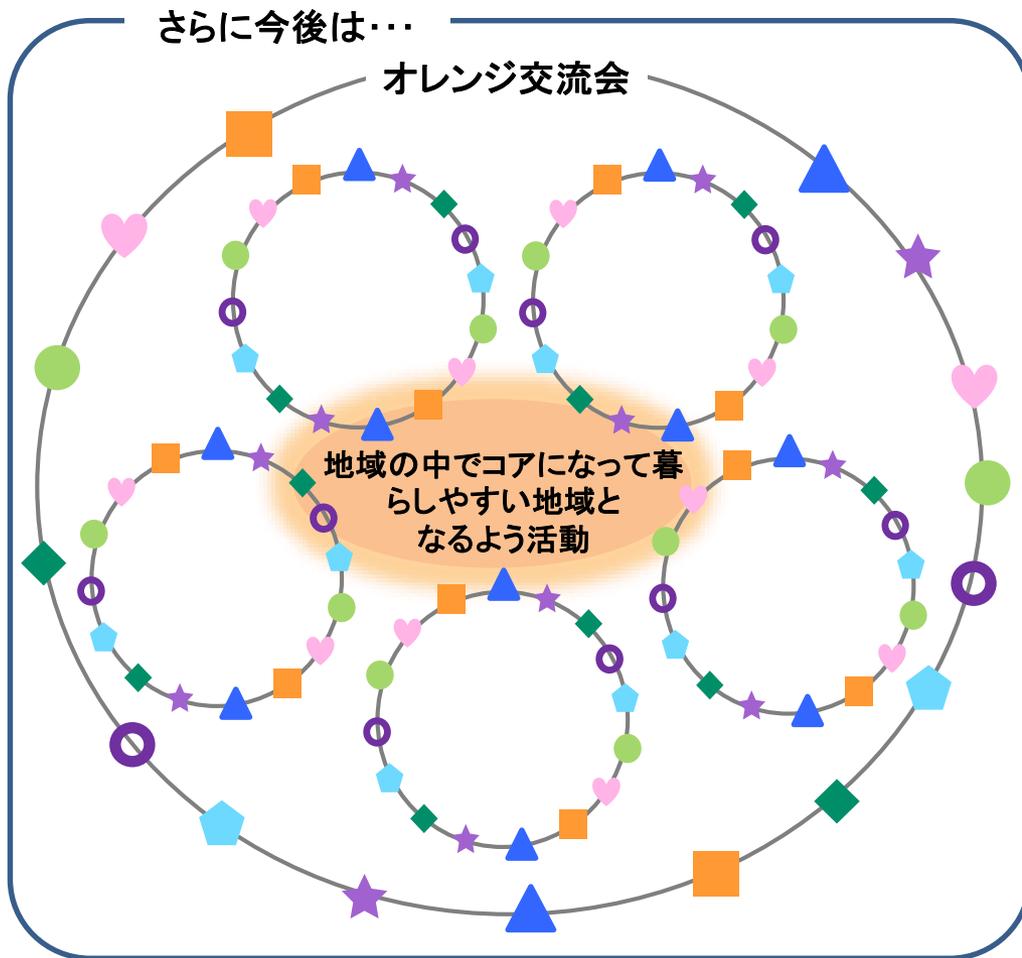


年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26
市事業	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座事務局設置 認知症サポーター養成講座 		<ul style="list-style-type: none"> 認知症講演会 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症地域支援推進員の設置 認知症社会資源マップ作成 認知症講演会 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症地域支援推進員の設置 認知症社会資源マップ作成 認知症ケア従事者向けスキルアップ研修 認知症講演会 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症地域支援推進員の設置 認知症カフェ 認知症ケアパス 認知症多職種協働研修 認知症講演会
予算				1,770千円 (認知症対策等総合支援事業補助金)	693千円 (認知症対策等総合支援事業補助金)	1,869千円 (地域支援事業)

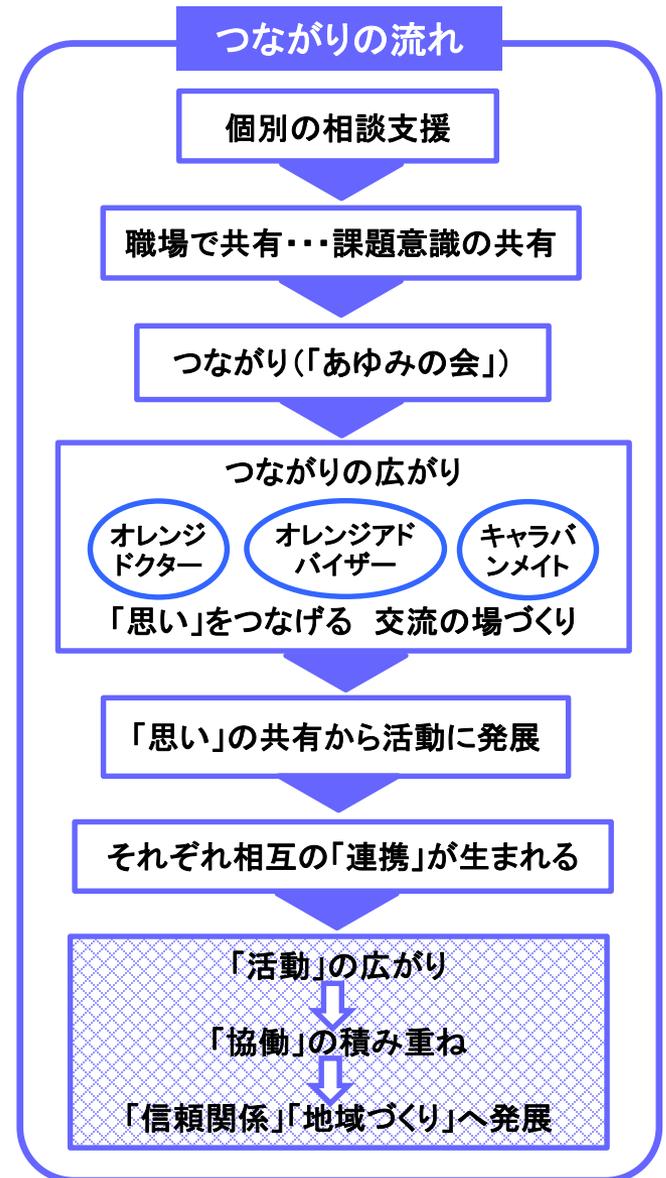
オレンジ交流会の取り組みが 日常生活圏域単位へ 広がっています！



現在の課題と今度の取り組みの方向性

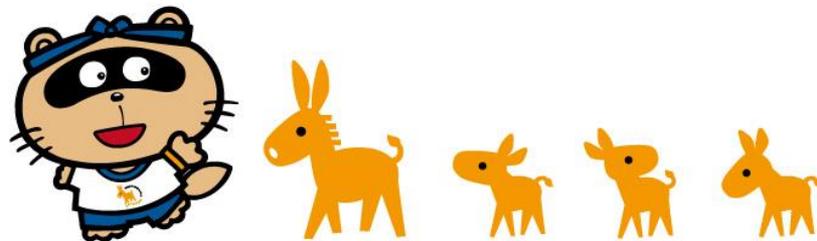


⇒ 市民(さまざまな関係者)と行政が一体となった地域づくり



誰もが支え合う地域を目指して

地域に暮らしている人たちが、認知症になっても笑顔で幸せに暮らし続けることができるように、私たちが今できることを考え、思いを共有し、参加して、つながって活動する。そんな地道な歩みを続けていきます。



有志のみんなが つながって
「認知症支援の輪」が広がっています



仕合わせ(人と人とのつながりから得られる)

ご清聴ありがとうございました。

